

第4部

マリキナ市と呉市の比較

1. はじめに

ここでは、第2部で行ったフィリピン・マニラ首都圏マリキナ市住民を対象とした市民意識調査の結果と第3部で行った広島県呉市の市民意識調査の比較を行う。両者を比較することにより、災害情報伝達に関する回答の差について検討する。

2. マリキナ市と呉市の比較

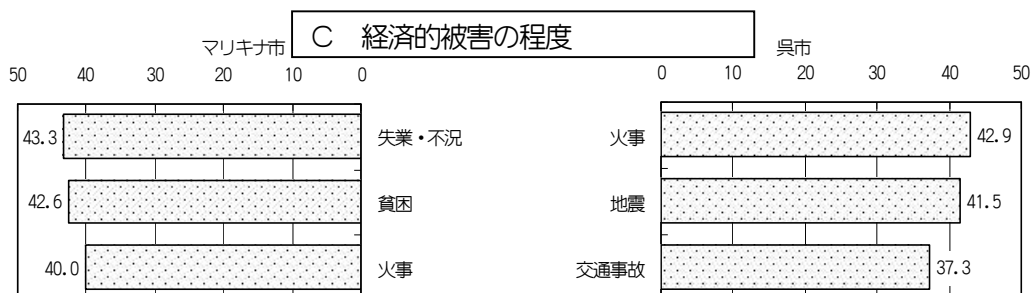
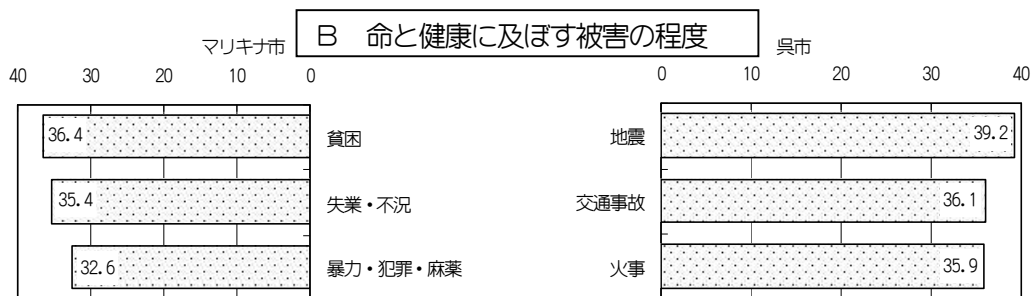
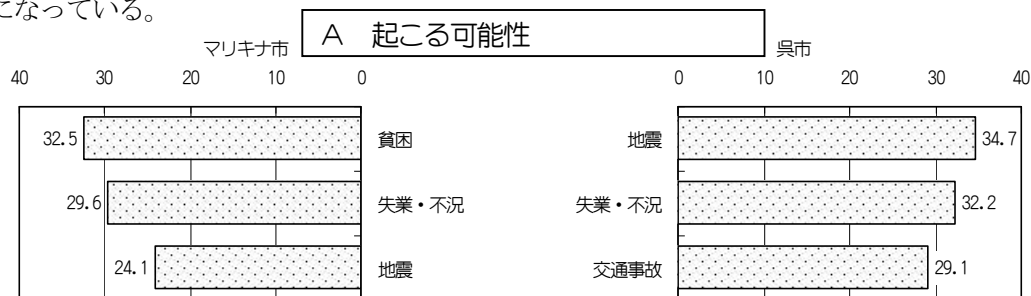
両者の比較は、1) 地震発生の予測及びその影響予測、2) 地震に関する知識、3) 自身に対するそなえ、4) 資料提示後の被害想定、5) 地震が起きたと想定したときの意識態度、6) 地域・つながり等について行った。

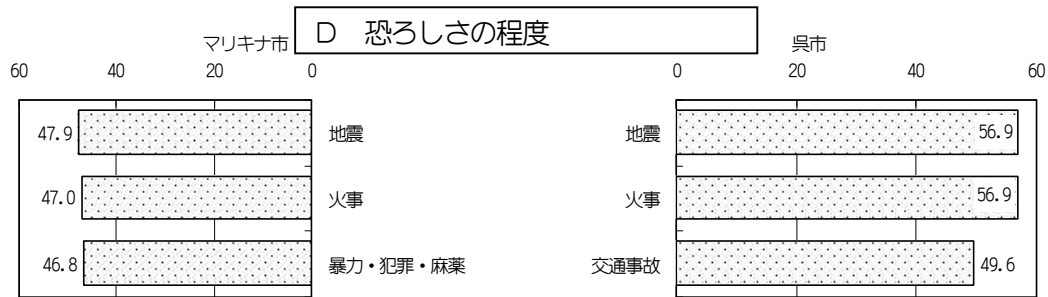
1) 地震発生の予測及びその影響予測

Q 1. 危難の予測 (13の危難): 「非常に大きい」のは?

	マリキナ市		呉市	
A 起こる可能性	「貧困」	32.5%	「地震」	34.7%
	「失業・不況」	29.6%	「失業・不況」	32.2%
	「地震」	24.1%	「交通事故」	29.1%
B 命と健康に及ぼす被害の程度	「貧困」	36.4%	「地震」	39.2%
	「失業・不況」	35.4%	「交通事故」	36.1%
	「暴力・犯罪・麻薬」	32.6%	「火事」	35.9%
C 経済的被害の程度	「失業・不況」	43.3%	「火事」	42.9%
	「貧困」	42.6%	「地震」	41.5%
	「火事」	40.0%	「交通事故」	37.3%
D 恐ろしさの程度	「地震」	47.9%	「地震」	56.9%
	「火事」	47.0%	「火事」	56.9%
	「暴力・犯罪・麻薬」	46.8%	「交通事故」	49.6%

危難の予測では、マリキナ市は「起こる可能性」、「命と健康に及ぼす被害の程度」、「経済的被害の程度」のいずれにおいても、「貧困」、「失業・不況」が上位を占めているのに対し、呉市では「地震」、「交通事故」が常に上位になっている。また、「恐ろしさの程度」では、両者とも「地震」、「火事」が上位になっている。

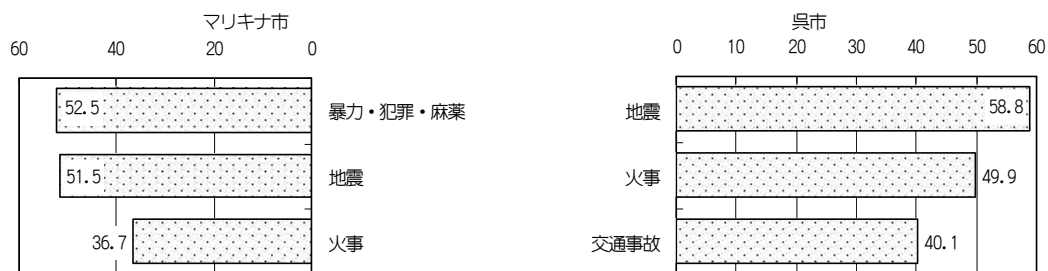




Q2. 最も恐ろしい危難

	マリキナ市		呉市	
	「暴力・犯罪・麻薬」	52.5%	「地震」	58.5%
	「地震」	51.5%	「火事」	49.9%
	「火事」	36.7%	「交通事故」	40.1%

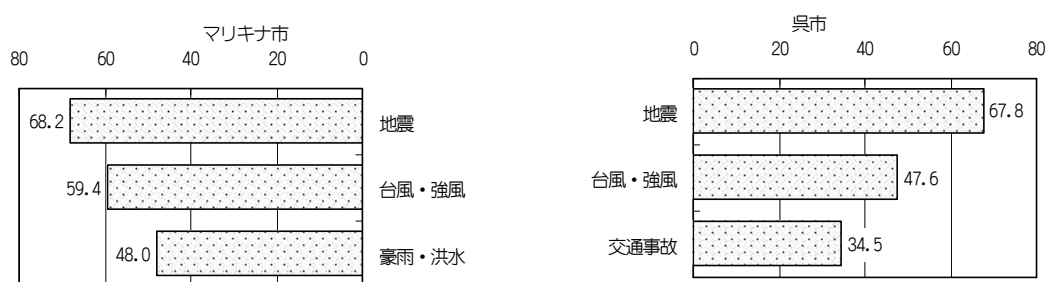
最も恐ろしい危難では、両者とも「地震」、「火事」が上位にあがっているが、マリキナ市の1位は「暴力・犯罪・麻薬」である。これは、国の違いが考えられる。



Q3. 個人の体験した危難

	マリキナ市		呉市	
	「地震」	68.2%	「地震」	67.8%
	「台風・強風」	59.4%	「台風・強風」	47.6%
	「豪雨・洪水」	48.0%	「交通事故」	34.5%

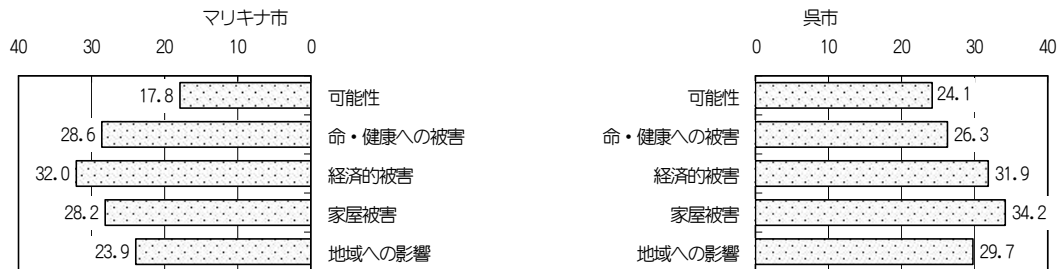
個人が体験した危難では、両者とも「地震」、「台風・強風」が1、2位を占めているが、3位以下で違いが出ている。



Q 4. 地震に特定した場合

	マリキナ市		呉市	
「非常に大きい」	可能性	17.8%	可能性	24.1%
	命・健康への被害	28.6%	命・健康への被害	26.3%
	経済的被害	32.0%	経済的被害	31.9%
	家屋被害	28.2%	家屋被害	34.2%
	地域への影響	23.9%	地域への影響	29.7%

Q 1. と同じ形式で、危難を地震に特定して行った。その結果、「可能性」、「家屋被害」、「地域への影響」では呉市のほうが「非常に大きい」と答えた人が多く、「命・健康への被害」、「経済的被害」についてはマリキナ市のほうが多かった。

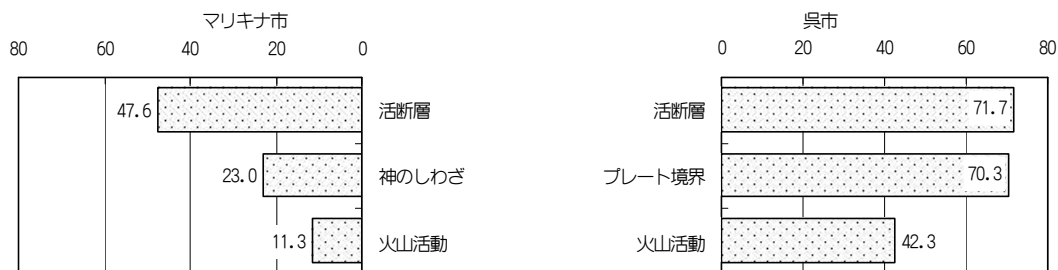


2) 地震に関する知識

Q 5. 地震が発生する原因

	マリキナ市		呉市	
	活断層が動くため	47.6%	活断層が動くため	71.7%
	神のしわざ	23.0%	プレート境界でのずれのため	70.3%
	火山活動のため	11.3%	火山活動のため	42.3%

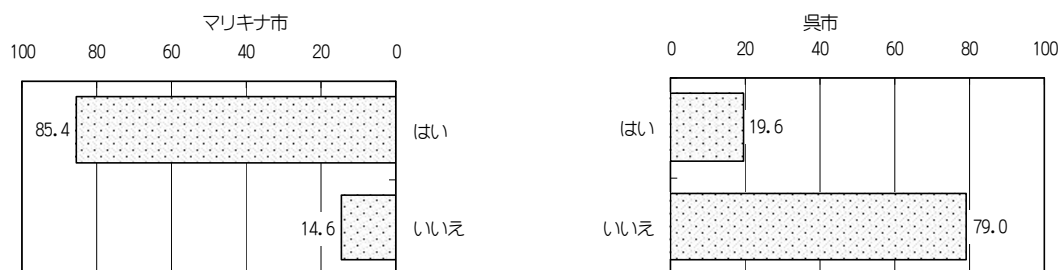
地震が発生する原因については、両者とも1位「活断層が動くため」、3位「火山活動のため」となっているが、1位については24.1ポイント、3位については31.0ポイント呉市が上回っている。



Q 6. 住まいの近くにある活断層等を知っている

	マリキナ市		呉市	
	「はい」	85.4%	「はい」	19.6%
	「いいえ」	14.6%	「いいえ」	79.0%

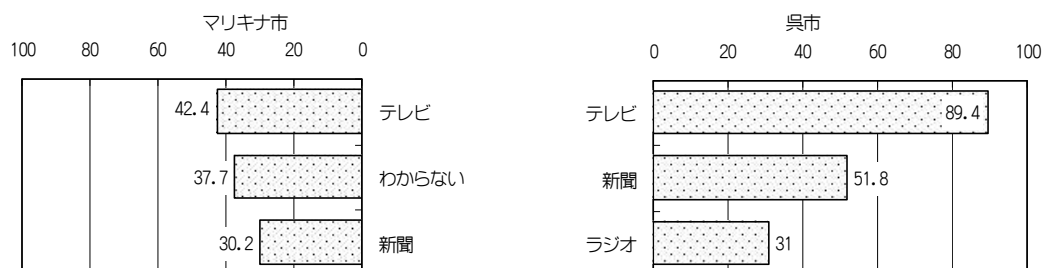
住まいの近くの活断層の存在については、マリキナ市は「はい」と答えた人が85.4%であるのに対し、呉市では19.6%と4倍以上の差がある。



Q8. 震災情報源について

	マリキナ市		呉市	
	「テレビ」	42.4%	「テレビ」	89.4%
	「わからない」	37.7%	「新聞」	51.8%
	「新聞」	30.2%	「ラジオ」	31.0%

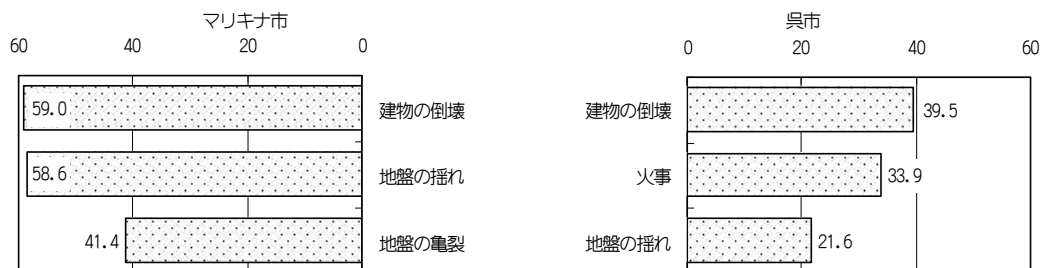
震災情報源については、両者とも「テレビ」が1位になっているが、呉市が89.4%であるのに対し、マリキナ市が42.4%と2倍以上の差がある。



Q9. 地震が起こす事象について

	マリキナ市		呉市	
「とてもよく知っている」	「建物の倒壊」	59.0%	「建物の倒壊」	39.5%
	「地盤の揺れ」	58.6%	「火事」	33.9%
	「地盤の亀裂」	41.4%	「地盤の揺れ」	21.6%

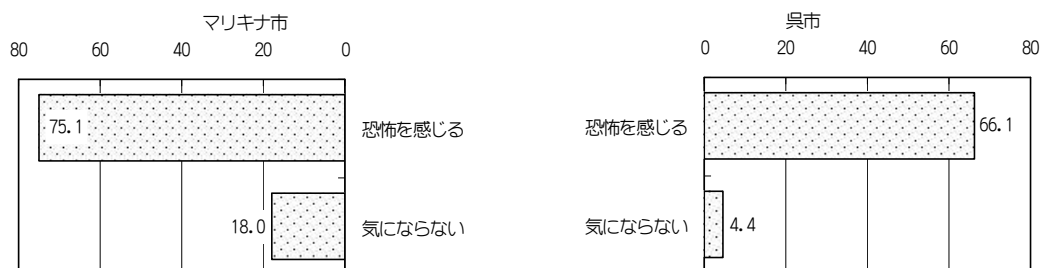
地震が起こす事象については、両者とも「建物の倒壊」が1位になっているが、マリキナ市が59.0%であるのに対し、呉市が39.5%と19.5ポイントの差がある。また、「地盤の揺れ」についてもマリキナ市が58.6%であるのに対し、呉市では、21.6%と32.0ポイントの差がある。



Q10. 地震に対する恐怖について

	マリキナ市		呉市	
	「恐怖を感じる」	75.1%	「恐怖を感じる」	66.1%
	「気にならない」	18.0%	「気にならない」	4.4%

地震に対する恐怖については、「恐怖を感じる」と答えた人が、マリキナ市では、4人に3人であるのに対し、呉市では3人に2人である。一方、「気にならない」と答えた人はマリキナ市で18.0%、呉市で4.4%となっている。

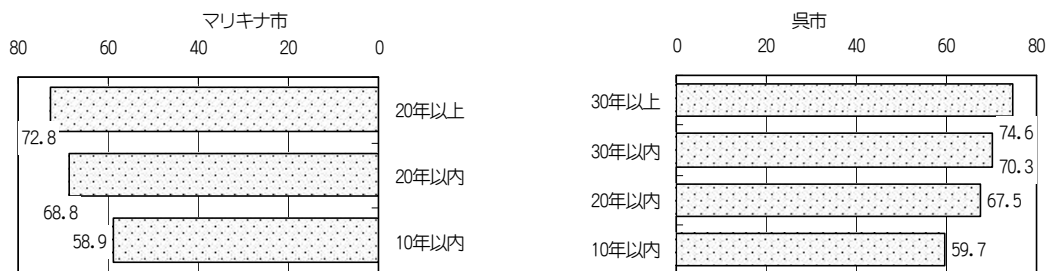


3) 地震に対するそなえ

Q11. 地震が起こる可能性

	マリキナ市		呉市	
<可能性がある>				
「起こる可能性が大きい」	「20年以上」	72.8%	「30年以上」	74.6%
+ 「起こるかもしれない」	「20年以内」	68.8%	「30年以内」	70.3%
	「10年以内」	58.9%	「20年以内」	67.5%
			「10年以内」	59.7%

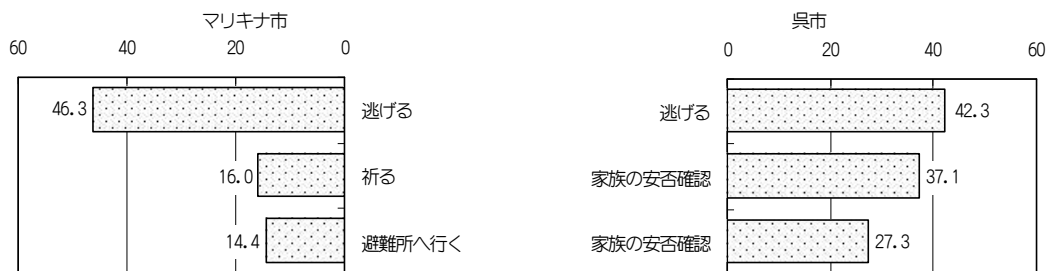
何年か後に地震が起こる可能性については、「可能性がある」と答えた人は、「20年以内」で6割を超え、大きな差はない。



地震がもし起こったら

Q12. 昼間なら

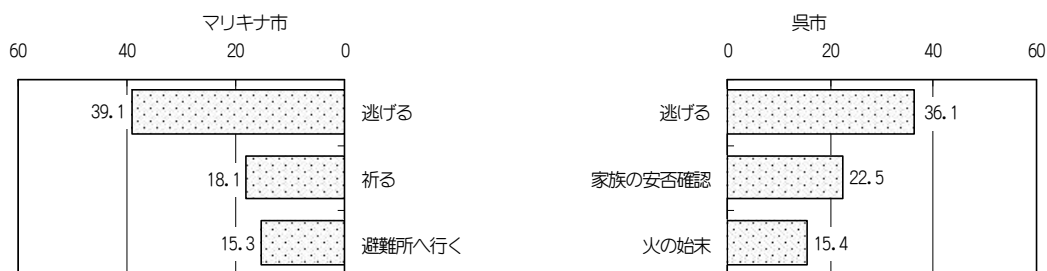
	マリキナ市		呉市	
	「逃げる」	46.3%	「逃げる」	42.3%
	「祈る」	16.0%	「火の始末」	37.1%
	「避難所へ行く」	14.4%	「家族の安否確認」	27.3%



Q13. 夜間なら

	マリキナ市		呉市	
	「逃げる」	39.1%	「逃げる」	36.1%
	「祈る」	18.1%	「家族の安否確認」	22.5%
	「避難所へ行く」	15.3%	「火の始末」	15.4%

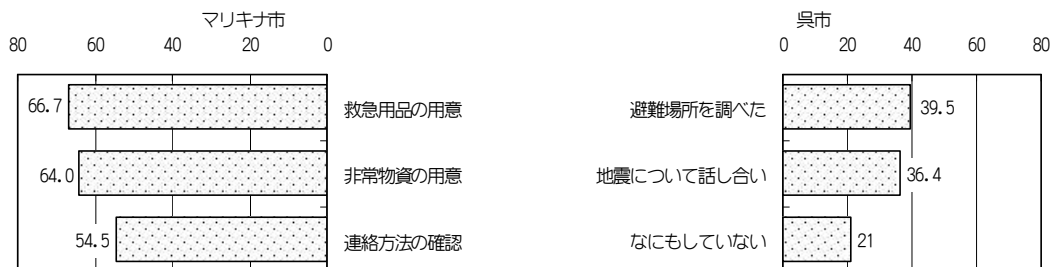
昼間と夜間に地震が起こったらどのような行動を取るかについては、両者の昼間、夜間とも1位が「逃げる」で、大きな差はない。一方、2位以下は、マリキナ市は「祈る」、「避難所へ行く」であるのに対し、呉市では「火の始末」、「家族の安否確認」となっている。



Q14. すでに行ったそなえ

	マリキナ市		呉市	
	「救急用品を用意した」	66.7%	「避難場所を調べた」	39.5%
	「非常用物資を用意した」	64.0%	「地震について話し合った」	36.4%
	「非常時の連絡方法の確認」	54.5%	「なにもしていない」	21.0%

すでに行ったそなえでは、マリキナ市が「救急用品、非常用物資の用意」、「非常時の連絡方法の確認」であるのに対し、呉市では、「避難場所を調べた」、「地震について話し合った」をあげる人が多かった。

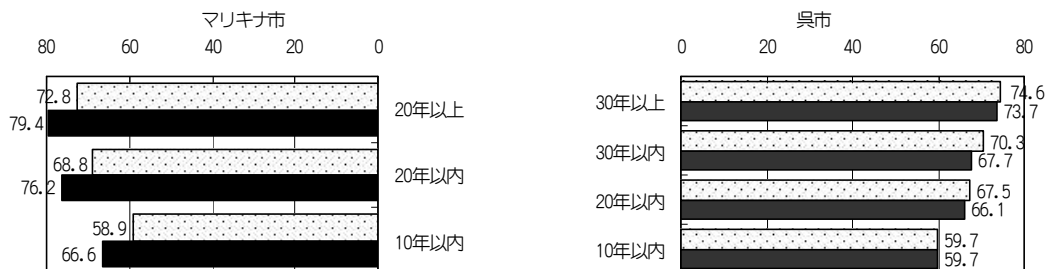


4) 資料提示後の被害想定

Q15. 地震が起こる可能性 (Q11. との比較)

	マリキナ市		呉市	
<可能性がある>			「30年以上」 (74.6%)	73.7%
「起こる可能性が大きい」	「20年以上」 (72.8%)	79.4%	「30年以内」 (70.3%)	67.7%
+ 「起こるかもしれない」	「20年以内」 (68.8%)	76.2%	「20年以内」 (67.5%)	66.1%
	「10年以内」 (58.9%)	66.6%	「10年以内」 (59.7%)	59.7%

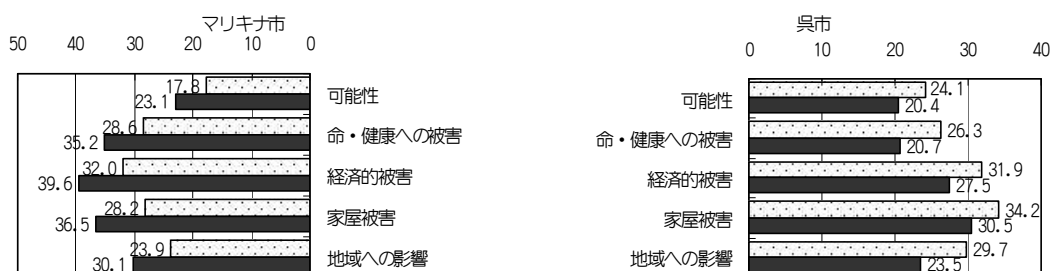
資料提示後の地震が起こる可能性について、Q11. と比較すると、マリキナ市では、いずれも割合が大きくなっており、意識態度は、悲観的になっているのに対し、呉市では、いずれの割合も低くなっており、意識態度は、やや楽観的になっている傾向がみられる。



Q16. 起こる可能性・被害予想 (Q4. との比較)

	マリキナ市		呉市	
「非常に大きい」	可能性	(17.8%) 23.1%	可能性	(24.1%) 20.4%
	命・健康への被害	(28.6%) 35.2%	命・健康への被害	(26.3%) 20.7%
	経済的被害	(32.0%) 39.6%	経済的被害	(31.9%) 27.5%
	家屋被害	(28.2%) 36.5%	家屋被害	(34.2%) 30.5%
	地域への影響	(23.9%) 30.1%	地域への影響	(29.7%) 23.5%

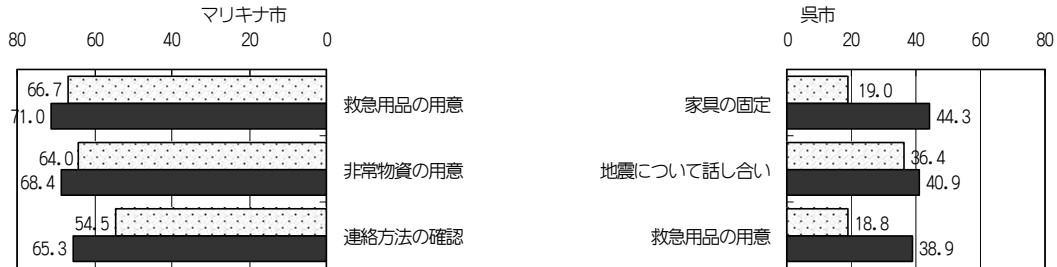
地震が発生した際の起こる可能性・被害予想について、Q4. と比較すると、マリキナ市では、いずれの項目も割合が大きくなっており、逆に呉市においては、いずれの割合も低く、Q17. と同じ傾向を示している。



Q17. これからの「そなえ」(Q14. との比較)

	マリキナ市		呉市	
「救急用品の用意」	(66.7%)	71.0%	「重い家具の固定」	(19.0%) 44.3%
「非常用物資の用意」	(64.0%)	68.4%	「地震について話し合う」	(36.4%) 40.9%
「連絡方法の確認」	(54.5%)	65.3%	「救急用品の用意」	(18.8%) 38.9%

これからの「そなえ」について、Q14. と比較すると、マリキナ市では、上位3項目は変わらず、いずれも4.3~10.8ポイント高くなっている。一方、呉市では、「重い家具の固定」が25.3ポイント、「救急用品の用意」が20.1ポイント高くなり、Q14. と上位3項目のうち2項目が入れ替わっている。

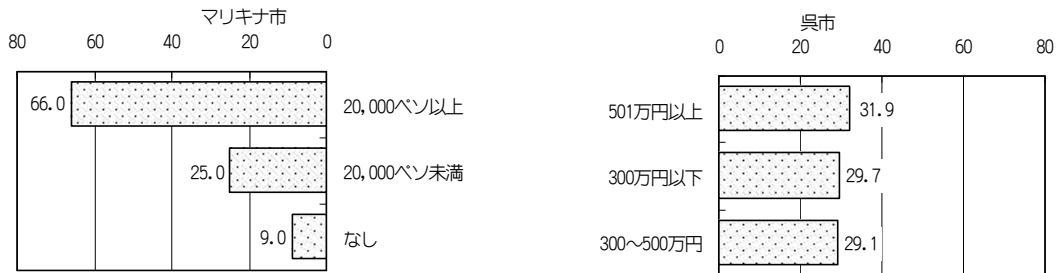


5) 地震が起きたと想定したときの意識態度

Q18. 被害額の想定

	マリキナ市		呉市	
「20,000ペソ以上」	66.0%		「501万円以上」	31.9%
「20,000ペソ未満」	25.0%		「300万円以下」	29.7%
「なし」	9.0%		「300~500万円」	29.1%

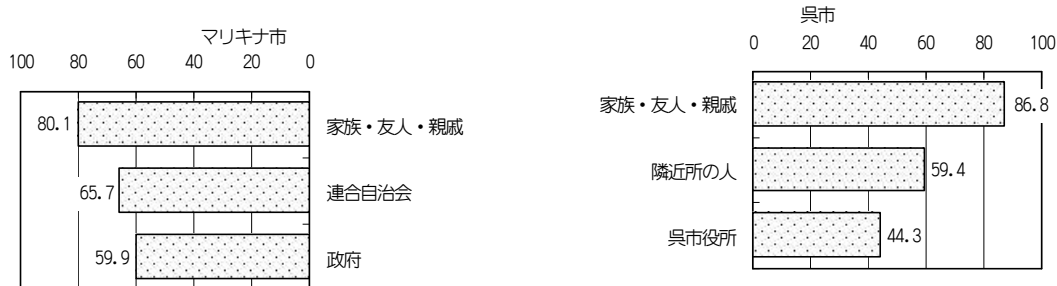
被害額の想定については、マリキナ市では3人に2人が「20,000ペソ以上」と大半を占めているのに対し、呉市では、いずれの項目も3人に1人の割合と分散している。



Q19. 頼りになる組織・機関・個人

	マリキナ市		呉市	
「家族・友人・親戚」	80.1%		「家族・友人・親戚」	86.8%
「連合自治会」	65.7%		「隣近所の人」	59.4%
「政府」	59.9%		「呉市役所」	44.3%

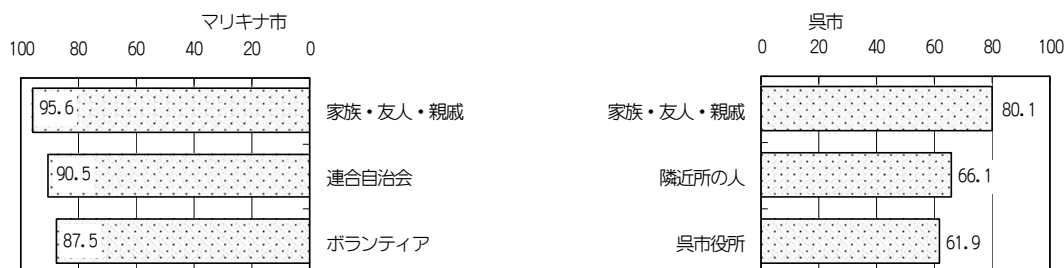
頼りになる組織・機関・個人については、両者とも「家族・友人・親戚」が1位になっており、身内を一番信頼しているとうかがえる。



Q20. 支援の予想

	マリキナ市		呉市	
「必ず支援が受けられる」 +「おそらく支援が受けられる」	「家族・友人・親戚」	95.6%	「家族・友人・親戚」	80.1%
	「連合自治会」	90.5%	「隣近所の人」	66.1%
	「ボランティア」	87.5%	「呉市役所」	61.9%

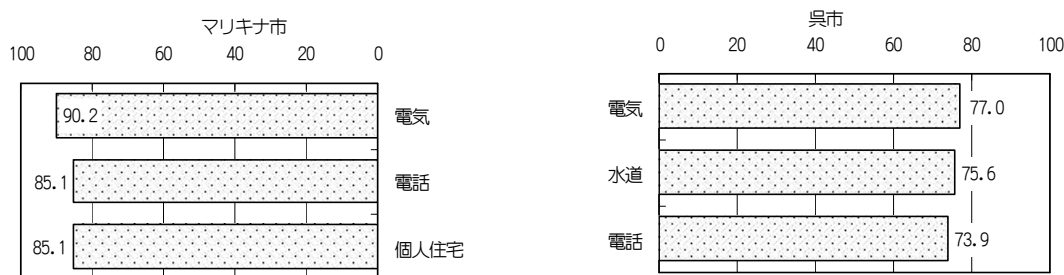
支援の予想については、両者とも「家族・友人・親戚」からは、支援が受けられると答えているが、マリキナ市では、その割合が95.6%と信頼の厚さがうかがえる。



Q21A. 機能が停止すると予想される施設

	マリキナ市		呉市	
機能が停止すると予想される施設	「電気」	90.2%	「電気」	77.0%
	「電話」	85.1%	「水道」	75.6%
	「個人住宅 (集合住宅)」	85.1%	「電話」	73.9%

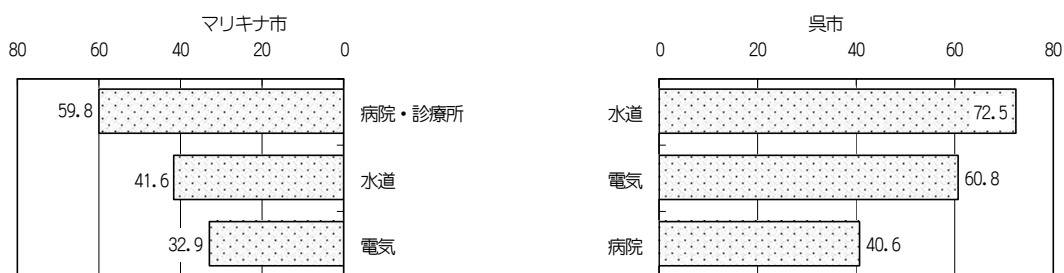
機能が停止すると予想される施設については、両者とも「電気」、「電話」があがっているが、「電気」では13.2ポイント、「電話」では11.2ポイント、マリキナ市が上回っている。



Q22. 守るべき施設

	マリキナ市		呉市	
守るべき施設	「病院・診療所」	59.8%	「水道」	72.5%
	「水道」	41.6%	「電気」	60.8%
	「電気」	32.9%	「病院」	40.6%

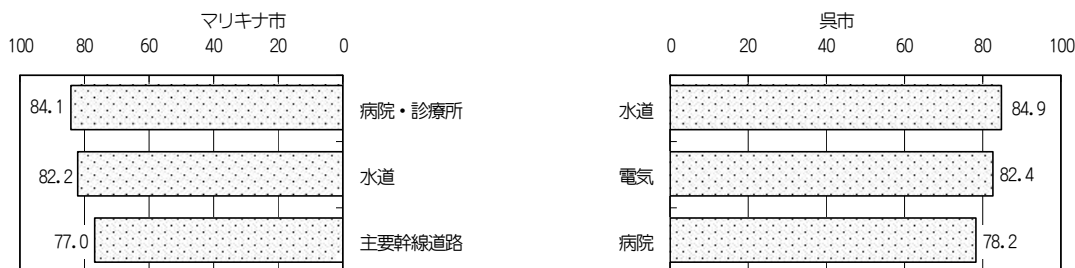
守るべき施設については、両者ともあがっている項目は同じであるが、順位、割合ともに差がある。「病院、診療所」については、マリキナ市が19.3ポイント高く、「水道」については、呉市が30.9ポイント高くなっている。また、「電気」については、呉市が27.9ポイントも高くなっている。



Q21B. 機能の継続が重要な施設

	マリキナ市	呉市
「病院・診療所」	84.1%	「水道」 84.9%
「水道」	82.2%	「電気」 82.4%
「主要幹線道路」	77.0%	「病院」 78.2%

機能の継続が必要な施設については、両者とも「病院・診療所」、「水道」があがっているが、その他は、マリキナ市では「主要幹線道路」、呉市では「電気」があがっている。



Q23. 備えのために出せる

	マリキナ市	呉市
「金額」	50,000ペソ以下 55.4%	「金額」 100万円以下 18.2%
「時間」	180時間程度 50.0%	「時間」 10時間以下 10.6%
「人手」	2人以下 53.4%	「人手」 3人、5人、10人以下 10.1%

備えのために出せる「金額」、「時間」、「人手（依頼人数）」については、マリキナ市がいずれの項目も班推移以上の割合を占めているのに対し、呉市では、ばらつきが大きい。

Q24. 信頼している集団や組織

	マリキナ市	呉市
「家族と親戚」	54.4%	「家族・友人・親戚」 64.4%
「教会」	30.6%	「隣近所の人」 21.3%
「マリキナ市役所」	27.3%	「自治会やボランティアの人たち」 11.5%

信頼している集団や組織については、両者とも「家族・友人・親戚」など身近な人々が1位にあげられている。

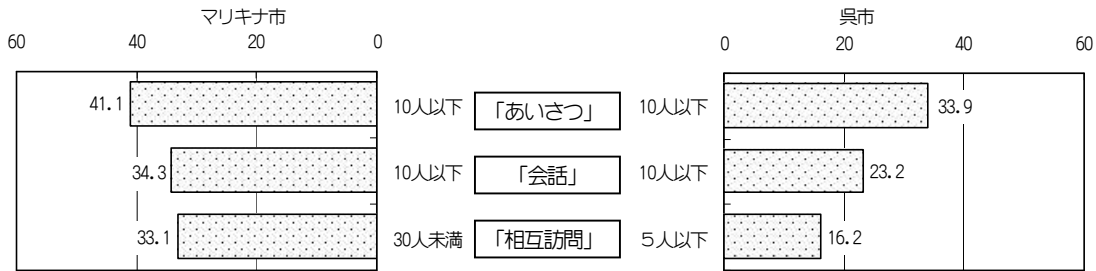


6) 地域・つながり等

Q25. 近所づきあい

	マリキナ市	呉市
「あいさつ」	10人以下 41.1%	「あいさつ」 10人以下 33.9%
「会話」	10人以下 34.3%	「会話」 10人以下 23.2%
「相互訪問」	30人未満 33.1%	「相互訪問」 5人以下 16.2%

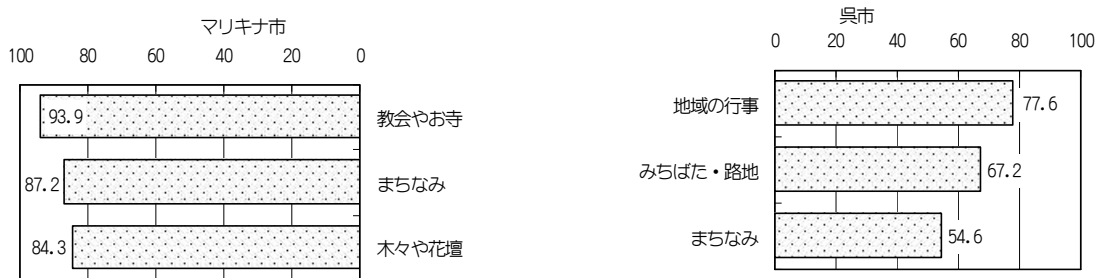
近所づきあいについては、両者に「あいさつ」、「会話」の大きな差はないが、「相互訪問」については、マリキナ市で「30人未満」が33.1%であるのに対し、呉市では「5人以下」が16.2%となっている。



Q26. まちにあるもの

	マリキナ市	呉市
「教会やお寺」	93.9%	「地域の行事」 77.6%
「まちなみ」	87.2%	「みちばた・路地」 67.2%
「木々や花壇」	84.3%	「まちなみ」 54.6%

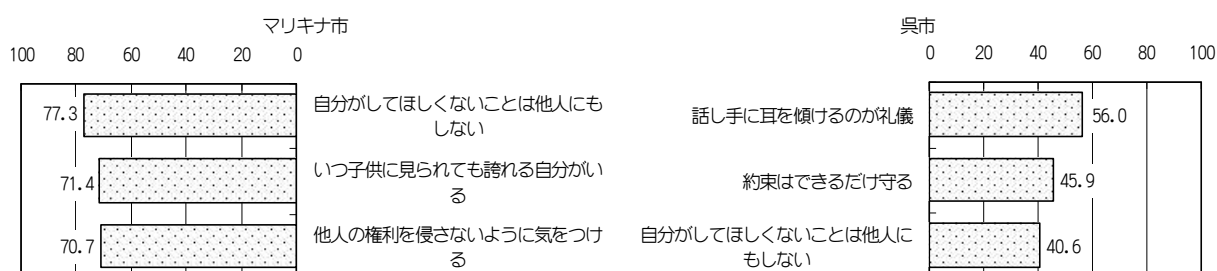
まちにあるものについては、マリキナ市では「教会やお寺」、「あなたが好きだと思うまちなみ」、「広場の木々や花壇」が上位であるが、呉市においては「地域の行事」、「立ち話ができそうなみちばた・路地」、「あなたが好きだと思うまちなみ」である。しかし、「ある」と答えた人の割合は、マリキナ市のほうが高く、まちに対する愛着がうかがえる。



Q27. 市民意識について

	マリキナ市	呉市
「非常に あてはま る」	「自分がしてほしくないことは 他人にもしない」 77.3%	「話し手に耳を傾けるのが礼 儀」 56.0%
	「いつ子供に見られても誇れる 自分がある」 71.4%	「約束はできるだけ守る」 45.9%
	「他人の権利を侵さないように 気をつける」 70.7%	「自分がしてほしくないことは 他人にもしない」 40.6%

市民意識については、「非常にあてはまる」と答えた人が、マリキナ市では、「自分がしてほしくないことは他人にもしない」、「いつ子供に見られても誇れる自分がある」、「他人の権利を侵さないように気をつける」が上位であるが、呉市では、「話し手に耳を傾けるのが礼儀」、「約束はできるだけ守る」、「自分がしてほしくないことは他人にもしない」である。しかし、割合をみると、マリキナ市の方がいずれも高くなっている。



以上より、マリキナ市と呉市を比較した場合、1999年の水害及び2001年の芸予地震という災害を実際に体験している呉市のほうが、災害スキーマが高くなって表れている。